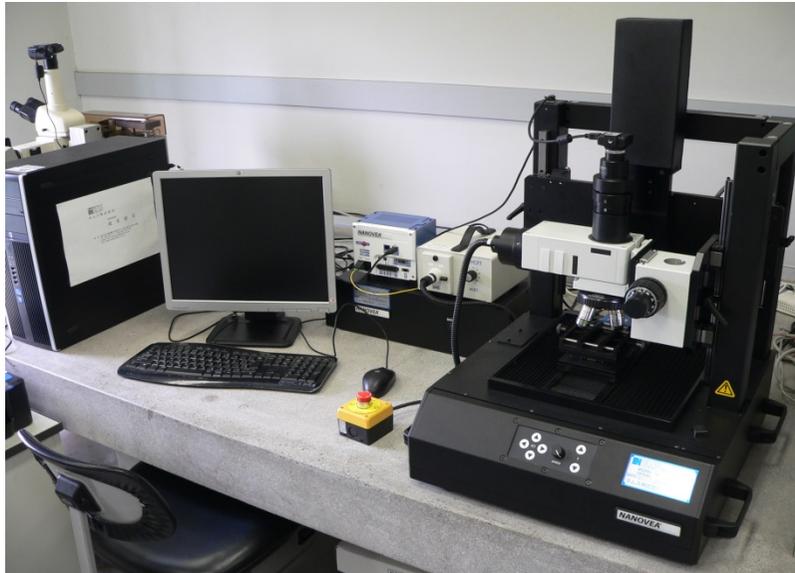


# スクラッチ試験機



本試験機は平成24年度に導入され、ドライコーティングをはじめとする表面処理膜の密着性に関する解析と評価を精度よく実施することができます。

スクラッチ試験は、固定した試料の表面に対し、先端にダイヤモンドチップが備わった圧子を押し付け、印加する荷重を徐々に大きくしながら引っ掻くことで、膜の密着性を評価する試験です。ドライコーティング膜の密着性は、通常、膜が剥離を起こした際の荷重(臨界荷重)によって評価され、臨界荷重は、光学顕微鏡によるスクラッチ痕観察とアコースティックエミッション信号の変化により決定します。

## NANOVEA製スタンダード・マクロ・スクラッチ試験機

- ・仕様： 試験モード(連続付加荷重&一定荷重)、荷重範囲(0.3~200 N)、垂直荷重付加速度 (0.3 ~400 N/min)、スクラッチ速度(0.5~200 mm/min)、最大摩擦力(200 N)、最大測定深さ(300 μm)、固定可能試料寸法(最大40×40×30 mm、最少10×10×3 mm)、顕微鏡対物レンズ(5、10、20倍)
- ・特記事項： 非接触式光学深さセンサーによる深さ計測、スクラッチ痕のパノラマ撮影機能付き、
- ・装置使用料金： 4,800円/時間(圧子持込の場合:2,800円/時間) (指導料別途要)
- ・問い合わせ先： 小畠(2718)、上田(2740)